

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>講座番号</b><br>A0605003 | <b>法政大学国際日本学研究所企画講座</b><br><b>外から見た「日本文化」 - グローバル化のただなかで -</b> |
|-------------------------|--|

| <b>講座趣旨</b>  | <b>講座開催概要</b>   |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
|--|---|----------|--------------------------|--|-----|-------------|--|-----|-------|--|-----|----------------------|--|-----|----------|--|--|--------|----------|--|--------|----------|-----|--------|--|-----|--|--|-----|------------------|--|
| <p>政治、経済の領域はもとより、文化の領域でも、日本のアニメ・マンガ、韓国のテレビドラマ、香港の映画・音楽などに見られるように、国の枠組みを超えた越境現象、すなわちグローバル化が急速に進行しつつあります。このグローバル化のただなかで、私たちは、広く世界に目を向けると同時に、もう一度自分たちが立っている足許を見つめ直す必要に迫られているのではないのでしょうか。</p> <p>この講座では、世界の中での私たち自身の位置を確認するために、外国人から見た「日本文化」を取り上げます。そうした外国人の眼差しの中に、日本文化や日本人についての思いがけない側面を発見し、これまで思っていたのとは違った自分自身に気づかされるはずです。</p> | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>日 程</td> <td colspan="2">5/20～7/29<br/>6/3を除く毎週土曜日</td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td colspan="2">13:30～15:00</td> </tr> <tr> <td>定 員</td> <td colspan="2">先着40人</td> </tr> <tr> <td>回 数</td> <td colspan="2">10回(ご希望の回を選んで受講できます)</td> </tr> <tr> <td>受講料</td> <td>各回2,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>三鷹市民一般</td> <td>各回1,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三鷹市民学生</td> <td>各回1,200円</td> </tr> <tr> <td>教 材</td> <td colspan="2">レジュメ資料</td> </tr> <tr> <td>難易度</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td colspan="2">三鷹ネットワーク大学 教室A・B</td> </tr> </table> | 日 程      | 5/20～7/29<br>6/3を除く毎週土曜日 |  | 時 間 | 13:30～15:00 |  | 定 員 | 先着40人 |  | 回 数 | 10回(ご希望の回を選んで受講できます) |  | 受講料 | 各回2,000円 |  |  | 三鷹市民一般 | 各回1,500円 |  | 三鷹市民学生 | 各回1,200円 | 教 材 | レジュメ資料 |  | 難易度 |  |  | 会 場 | 三鷹ネットワーク大学 教室A・B |  |
| 日 程  | 5/20～7/29<br>6/3を除く毎週土曜日  |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 時 間  | 13:30～15:00   |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 定 員  | 先着40人   |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 回 数  | 10回(ご希望の回を選んで受講できます)  |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 受講料  | 各回2,000円  |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
|  | 三鷹市民一般  | 各回1,500円 |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
|  | 三鷹市民学生  | 各回1,200円 |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 教 材  | レジュメ資料  |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 難易度  |   |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |
| 会 場  | 三鷹ネットワーク大学 教室A・B  |          |                          |  |     |             |  |     |       |  |     |                      |  |     |          |  |  |        |          |  |        |          |     |        |  |     |  |  |     |                  |  |

|            |   |            |                                  |
|------------|---|------------|----------------------------------|
| <b>第1回</b> | <b>5月20日</b>  | <b>講 師</b> | <b>星野 勉 法政大学国際日本学研究所所長・文学部教授</b> |
| タイトル       | R・ベネディクト『菊と刀』にみる「恥の文化」  |            |                                  |
| 講座内容       | 戦後の日本文化論の方向を決定したといっても言い過ぎではない、R・ベネディクトの『菊と刀』によりながら、欧米の個人主義に対比される日本の集団主義、「罪の文化」に対比される「恥の文化」について考える。そのさい、外国人による日本研究を私たち日本人がどう受け止めたらいいかという問題にも触れたい。                |            |                                  |
| <b>第2回</b> | <b>5月27日</b>  | <b>講 師</b> | <b>相良 匡俊 法政大学社会学部教授</b>          |
| タイトル       | 150年前に日本に来たフランス人  |            |                                  |
| 講座内容       | 明治維新前後、驚くほど多数の欧米人が日本を訪れ、驚くほどたくさんの本を書いていた。ここではその当時、日本に来たフランス人たちを紹介したいと思います。どういふフランス人が日本に来て、どういふ日本を見たのでしょうか。  |            |                                  |
| <b>第3回</b> | <b>6月10日</b>  | <b>講 師</b> | <b>ヨーゼフ・クライナー 法政大学特任教授</b>       |
| タイトル       | タミノの「狩衣」 - モーツァルトは日本について何を知っていたか  |            |                                  |
| 講座内容       | 1791(寛政3)年にウィーンで上演された歌劇『魔笛』の主人公タミノに、日本の「狩衣」を身に付けて舞台に立つよう、モーツァルトが指示した。講座では、その裏にある近世ヨーロッパにおける日本に対する知識や日本観を分析しながら解釈を試みる。   |            |                                  |
| <b>第4回</b> | <b>6月17日</b>  | <b>講 師</b> | <b>横山 泰子 法政大学工学部助教授</b>          |
| タイトル       | 日本の妖怪とアジアの妖怪  |            |                                  |
| 講座内容       | 『ゲゲゲの鬼太郎』や『もののけ姫』など、現代の日本のアニメなどに登場する妖怪たちの背景には、長い時間をかけて育まれてきた妖怪文化の伝統があります。この講座では、現代につながる日本の妖怪文化の魅力を、特に中国との関わりにおいて考えてみます。トトロやピカチュウは国境を越えましたが、るくる首はどうでしょう？         |            |                                  |
| <b>第5回</b> | <b>6月24日</b>  | <b>講 師</b> | <b>川村 湊 法政大学国際文化学部教授</b>         |
| タイトル       | アジアのなかの日本大衆文化 - 日式・韓流・哈日  |            |                                  |
| 講座内容       | アジアにおいては、現在、大衆文化の相互交流が盛んである。文学・マンガ・アニメ・歌謡・映画・ゲームにおいて、日本・韓国・香港・台湾・中国が大衆文化の東アジア共同体を形成する勢いである。この講座では、主に文学・映画について、近年の大衆文化における興隆の起源を問い、その可能性を追求する。                   |            |                                  |
| <b>第6回</b> | <b>7月 1日</b>  | <b>講 師</b> | <b>王 敏 法政大学国際日本学研究所教授</b>        |
| タイトル       | 現代中国における日本観   |            |                                  |
| 講座内容       | 現代の中国人は二つの日本観を持ち合わせている。すなわち近代革命のモデルだった日本と外国を侵略した日本である。特に若い世代では、日本をあこがれている層が増えてはいるものの、「愛憎二重性の日本観」を持っている。このような日本観の成立過程、背景および現状分析を行い、日中間において迫られている既成概念への克服について考える。 |            |                                  |

|             |  |           |                                    |
|-------------|--|-----------|------------------------------------|
| <b>第7回</b>  | <b>7月8日</b>  | <b>講師</b> | <b>西野 春雄 野上記念法政大学能楽研究所所長・文学部教授</b> |
| <b>タイトル</b> | 欧米人の能楽発見   |           |                                    |
| <b>講座内容</b> | 初めて能に触れた欧米人たちは、能に何を発見し何を感じたでしょうか。能は欧米人の心にどのように映ったでしょうか。死ぬほど退屈した人もいましたが、感銘を受けた欧米人たちは、その新鮮なまなざしで、能の本質を鋭く指摘し洞察しています。本講座では、近代以降の欧米人による能楽発見の軌跡をたどります。                             |           |                                    |
| <b>第8回</b>  | <b>7月15日</b>   | <b>講師</b> | <b>勝又 浩 法政大学文学部教授</b>              |
| <b>タイトル</b> | 二人のノーベル賞作家 - 川端康成と大江健三郎  |           |                                    |
| <b>講座内容</b> | 現在、日本のただ二人のノーベル文学賞受賞者である川端康成と大江健三郎は、象徴的にはヨーロッパが認めた日本を代表する作家だといえよう。しかし、この二人が、その思想も作風もまったく異にする人たちであることは改めて言うまでもない。この事実の上立って日本文学の性格そのものを考えて見ると、そこに何が見えてくるか、考察を進めたい。             |           |                                    |
| <b>第9回</b>  | <b>7月22日</b>   | <b>講師</b> | <b>スティーヴン・G・ネルソン 法政大学文学部教授</b>     |
| <b>タイトル</b> | 英文学になった『源氏物語』 - 三つの英訳をめくって -   |           |                                    |
| <b>講座内容</b> | 『源氏物語』の英語への完訳には、1925年から1933年にかけて6冊本として刊行されたウェイリー訳、1976年のサイデンスティック訳、および2001年のタイラー訳がある。今回の講座では、言葉遣い・文体などの特徴を確かめて、変化しながら生きていく英文学としての『源氏物語』を考えると同時に、日本語による現代語訳とのかかわり合いについても触れたい。 |           |                                    |
| <b>第10回</b> | <b>7月29日</b>   | <b>講師</b> | <b>飯田 泰三 法政大学沖縄文化研究所所長・法学部教授</b>   |
| <b>タイトル</b> | 丸山眞男『日本の思想』にみる「伝統」と「近代化」の関連  |           |                                    |
| <b>講座内容</b> | 丸山眞男は西欧「近代」をモデルとして、いわゆる「戦後民主主義」の時期のオピニオン・リーダーの役割を担った。しかし、1957年『日本の思想』を書いたころから、新たに「伝統」の読み直しを開始し、60年代からは日本文化の「古層」の探求に向かう。丸山歿後10年を迎える今日、その丸山晩年の思索の意義を再考してみたい。                   |           |                                    |

| 講師紹介（敬称略）  |   |
|--|---|
| <b>星野 勉（ほしの つとむ）</b><br>法政大学国際日本学研究所所長・文学部教授。専攻は西洋近・現代哲学、倫理学。著書に『現代哲学への招待』（共著、有斐閣）、『倫理思想事典』（共編著、山川出版社）など。  | <b>相良 匡俊（さがら まさとし）</b><br>法政大学社会学部教授。専攻はフランス近現代社会史。著書に『ヨーロッパ近現代史再考』（共著、ミネルヴァ書房）、『世界の歴史と文化・フランス』（共著、新潮社）。                          |
| <b>ヨーゼフ・クライナー（Josef Kreiner）</b><br>法政大学特任教授。専攻は民族学、日本文化研究。著書に『日本民族学の現在』『地域性から見た日本 - 多元的理解のために』（編著、新曜社）、『江戸・東京の中のドイツ』（講談社学術文庫）など。                  | <b>横山 泰子（よこやま やすこ）</b><br>法政大学工学部助教授。専攻は日本文化論。著書に『江戸東京の怪談文化の成立と変遷 - 19世紀を中心に』（風間書房）、『綺堂は語る、半七が走る - 異界都市江戸東京』（教育出版）など。             |
| <b>川村 湊（かわむら みなと）</b><br>法政大学国際文化学部教授。専攻は日本現代文学、文芸批評、比較民俗学。著書に『補陀落 - 観音信仰への旅』（作品社）、『日本の異端文学』（集英社）など。   | <b>王 敏（おう びん）</b><br>法政大学国際日本学研究所教授。専攻は日中比較研究、宮澤賢治研究。著書に『<情>の文化と<意>の文化』（編著、中央公論新社）、『宮沢賢治・中国に翔ける思い』（岩波書店）など。                       |
| <b>西野 春雄（にしのはるお）</b><br>野上記念法政大学能楽研究所所長・文学部教授。専攻は能楽研究、日本中世文学。著書に『岩波講座 能・狂言 能の作者と作品』（共著、岩波書店）、『謡曲百番』<新日本古典文学大系>（岩波書店）、『能・狂言事典 新訂増補』（共編著、平凡社）など。     | <b>勝又 浩（かつまた ひろし）</b><br>法政大学文学部教授。専攻日本近・現代文学。著書に『作家たちの往還』（鳥影社）、『中島敦の遍歴』（筑摩書房）、『引用する精神』（同）、『都市の常民たち - 作家のいる風景』（勉誠出版）など。           |
| <b>スティーヴン・G・ネルソン（Steven G. Nelson）</b><br>法政大学文学部教授。専攻は日本古典音楽・芸能史。著書に『日本三代実録音楽記事年表』日本伝統音楽資料集成4（共編著、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター）、『（雅楽）映像解説2』（共著、下中記念財団）など。 | <b>飯田 泰三（いいだ たいぞう）</b><br>法政大学沖縄文化研究所所長・法学部教授。専攻は思想史、文化史。著書に『批判精神の軌跡 - 近代日本精神史の一稜線 -』（筑摩書房）、『戦後精神の光芒 - 丸山眞男と藤田省三を読むために』（みすず書房）など。 |